

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービスセンターおひさま（児発）		
○保護者評価実施期間	令和6年8月1日		～ 令和6年9月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21人	(回答者数) 18人
○従業者評価実施期間	令和6年8月1日		～ 令和6年8月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4人	(回答者数) 4人
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月14日		

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもの発達状況に応じたきめ細かい個別支援及び集団での支援	<ul style="list-style-type: none"> ・障害（知的・情緒など）別、発達状況に応じた個別支援ができています。 ・集団活動では、異年齢の子どもとの運動遊びや製作遊び、感覚遊びなどを通してルールやコミュニケーションスキルの習得に取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大人（保護者など）との関わりや子ども同士の関わりの中で、子ども自身が自主性や主体的に活動ができるように支援を行っていく。
2	保護者支援及び関係機関との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者からの相談に応じ、スタッフ間で連携を図り問題解決や改善策に積極的に取り組むことができている。 ・定期的に関係機関と連携を図り、それぞれの役割を確認することができている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、保護者のニーズや不安や悩みに答えたいけるように迅速に対応し、安心していただけるように努める。また、関係機関との連携も密にとっていききたい。
3	家族通園による活動	<ul style="list-style-type: none"> ・家族通園の方法により、安心した環境の中で活動に参加し、保護者の方は子ども理解や子どもの発達段階にあった関わりを知ることができている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・就労している保護者の方や兄弟児がいる家庭が利用しやすいような環境を考えていきたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	専門職による支援	<ul style="list-style-type: none"> ・作業療法士、言語聴覚士、公認心理師が集団活動に参加し直接支援を行っているが、各グループの参加の回数が少ない現状がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要な人材が確保できるまでの間、各職員が研修を重ね専門性につながる支援に取り組んでいく。
2	家族通園による活動	<ul style="list-style-type: none"> ・兄弟児や就労している保護者にとっては利用しづらい現状がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもと向き合える社会や働きやすい環境を整える社会になって欲しい。
3	施設の老朽化	<ul style="list-style-type: none"> ・賃貸物件により使用用途や環境構成に限界がある。 ・築年数が古い建物になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい建物を建設予定。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		児童デイサービスセンターおひさま (児発)		公表日		令和7年2月14日		
		利用児童数		令和6年11月1日		21人		
		回収数				18人		
チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	18			・無駄な物がなく走り回れる。 ・子どもが走る時は順番なども決めて使っているので十分です。広ければ良いとも思いません。	・利用人数、子どもの状況に合わせたグループ編成を行うようにしています。また、新設の際に検討したいと思います。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	18			・自由遊びの時、みんながはしゃぎすぎるため大人数が好ましい。 ・基本は、職員の配置数が適切だとは思いますが、時々足りなかったりするかと感じます。 ・十分な配置数があり、アクティブな活動の時でも安心できる。 ・しっかり見て頂いて、今日はここが出来た、ここが上手くいかなかった等、教えて頂いています。	・配置基準は10:2(子ども10人に対し職員2人)ですが、おひさまでは10:4で職員配置を出来るようにしています。また、各専門職の先生に月1回参加して頂いていますが、対象曜日でない場合でも参加出来るようにしています。職員も専門性を高められるよう、勉強していきたいと思います。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	13	5			・構造はわかりやすい。バリアフリー化という点で靴箱の所の段差、トイレは使いにくいと思う。	・設備が不十分な部分はあると思います。環境に関しては今後も調整出来るよう心掛けるようにします。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	18				・先生方が掃除して下さる姿をよく見ます。忙しい中、色々工夫しながらして頂いているのが伝わります。	
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	18			・月1回ではなく、もう少し専門の先生(O.T・S.T・C.P)の回数・日数を増やして欲しい。	・専門職が参加の日で、対象曜日でない場合でも参加出来るようにしています。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	17	1				
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	18				・節目ごとの面談だけでなく、相談したこと等も、入れ込んで計画してもらっている。	・個別支援計画に基づき支援を行っています。今後も活動前の打ち合わせの際に個別支援計画の確認も行うようにしていきたいと思います。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	18				・児童発達ガイドラインを詳しく理解していないですが、目標や支援について教えて頂いています。 ・目的や効果、成長、目標なども説明して頂いている。	
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	18				・十分に支援して頂いていると思います。成長もはっきりしています。	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	18				・製作、体を使った活動どちらも出来るように工夫されている。 ・体を使う、ルールを知る、守る、待つ、など日により工夫して頂いている。	
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	13	2	1	2	・幼稚園できている為、問題ない。 ・保育園との交流がある。	・保育所の園庭を活動で使用の際に交流が図れるようにしています。また、登録児全員が幼稚園・保育園・認定こども園に併行通園している状況です。
12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	18				・私にもわかるように説明して頂いている。		
13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	18				・児童発達ガイドラインを詳しく理解していないですが、目標や支援について教えて頂いています。 ・目的や効果、成長、目標なども説明して頂いている。		

保護者への説明等

14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	18				・ともに活動させてもらっている。新しい気持ちがありともに成長出来る。	・基本家族通園で活動し、懇談会を通して講師を招いての勉強会や年2回の療育相談の実施。活動終了後に振り返りの時間を設ける事がおひさまとしてのペアレントトレーニングと考えています。
15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状態について共通理解ができていると思いますか。	18				・悩みや気になる事をどの先生もしっかり聞いて下さるので、出来ていると思う。	・活動終了後の振り返りや個別に話をする時間を設けています。
16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	18				・定期的ではなく、その時その時でも助言、支援をして下さるので、ありがたいです。	
17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	18					
18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	13	4		1	・学童の保護者との交流を増やしてほしい。 ・懇談会の中でフリートークの時間など作って頂いている。	・放課後等デイサービスと合同での懇談会を通して、交流が図れるように今後も計画をしていきたいと思います。 ・保護者会は設立していませんが、分離や懇談会を通して保護者同士のコミュニケーションが図れるよう心掛けています。必要に応じ職員が入る事もできるので声を掛けて頂ければと思います。
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	16	2			・十分に頂いている。おかげで長時間一人で抱え込むことが減りました。	・今後もよりよい支援に繋がるよう、研修等を通して学びの機会を持ち、いつでも相談に応じられる体制を作りたいと思います。また情報提供を行い、関係機関との連携を大切にしていきたいと思います。
20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	18				・子どもの意見も、保護者の事も考えて頂いていると思う。	
21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	17	1			・様々な方法で発信されており、しばらく通所が出来ない時でも情報を知ることができ助かっている。 ・しっかり発信して頂いている。	
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	18				・十分注意されているし、確認もして下さいます。	・取扱いには十分注意を払い対応します。
23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	17	1			・避難訓練はまめにいろいろと考えて実施されている。	
24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	18				・一度参加したが、あまり緊張感なく子どもが訓練した事を認識しているか分からない。 ・色々な事を想定して訓練されている。	
25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	16	1		1		
26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	18				・小さなケガでもすぐ報告していただけるので助かります。	
27	こどもは安心感をもって通所していますか。	17				未回答 1	
28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	15	3			・本人の苦手な事が原因で通所を泣くことがあるが、行く笑顔で楽しんでおり通所を後悔することはない。 ・楽しみにしている。今日はこれ楽しんで、これは嫌だった等話してくれる。 ・出席人数が多い日は嬉しそう。	・子どもたちが「楽しい」と思えるような活動を心掛けています。個別の中で保護者にお伝え出来るよう心掛けたいと思います。何かあればいつでも面談等の時間を作りたいと思います。
29	事業所の支援に満足していますか。	18				・数字や平仮名を使った遊びを増やしてほしい。 ・満足している。子どもだけではなく私もおひさまのおかげで一入りでよくよ落ち込まず育児が出来ている。いつもありがとうございます。	・子どもの状態に合わせて、活動内容を検討して提供していきます。

満足度

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童デイサービスセンターおひさま（児発）		公表日	令和7年2月14日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・人数が多い際に、トイレが込み合うことが時折ある為、順番等工夫しています。 ・自由遊びの際も玩具を数カ所用意し、広げて提供しています。 ・十分に走り回り発散できるスペースが確保できている反面、2つのあそびを一緒にする際は少し狭く感じる為、配置を工夫しています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・配置基準を満たし活動を行っています。また、定期的に専門職の先生に来て頂いています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○	・幼稚園・保育園・認定こども園により近い環境を提供することで、スムーズに就園に移行できるようにしています。	・室外・室内に関しては段差がある等整備が不十分なところがありますが、安全面に過ごせるよう絵カード等を活用しながら工夫しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・毎日、活動後に掃除を行い、週末には空気清浄機等の掃除もおこなっています。活動室は、子どもたちの集中が途切れないよう、最低限の掲示物のみを貼っています。また、触ると危険な物は手の届かない所に置くようにしています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		○		・空間を分ける中で、場所を移動することは認められる環境になっていますが、部屋としては不十分なところがあります。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		・日々の振り返りや行事ごとに振り返りの時間を作っています。また、月1回の会議を通して見直しを行っています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			・今後も、年1回継続してアンケートを行い、業務改善に繋がります。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・朝礼の時間で意見の把握や行事及び活動後の振り返りの時間を設けています。また、自分の思いだけでなく、相手の思いを知ることによって業務の改善に繋げる努力をしています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		・法人の第三者委員より意見をもらっています。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・常に外部研修や内部研修に参加できるようにしています。専門職の先生からの意見も取り入れながら学ぶ機会を設けています。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		○		・現在、作成中です。今年度中に公表します。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		・連絡表や個別支援計画書、日々の振り返り等を通してニーズに基づく計画作成を行っています。 ・外部で行われたアセスメントツール等結果も情報共有して支援の参考にしています。また必要に応じて感覚プロファイルを実施して評価しています。	

適切な支援の提供

13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・児童発達支援管理責任者を中心に検討会議を行い活動中での子どもの様子を共有することで、共通理解のもと作成しています。	
14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・子どもに関わるスタッフ全員が個別支援計画を把握しています。	
15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		行動観察について日々の振り返りでスタッフと共有することや、前回の行動観察についてアセスメントしている。	
16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・児童発達支援管理責任者を中心に検討会議を行い作成しています。	
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○			
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・季節の行事等も取り入れながら、月の計画が固定化されないようになっています。また、月齢や子どもの様子に合わせた活動を工夫しています。	
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		・製作活動など、個別で対応するようにしています。	
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・活動前に打ち合わせを行い共通理解の元、対応できるようにしています。	
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・活動終了後に保護者との振り返りを行い、その後スタッフ間でも振り返りを行っています。	
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・個人記録、全体記録をとっています。	
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・活動後に保護者と話をすることや、半年に1回は面談をするようにしています。	
24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・児童発達支援管理責任者やグループ担当スタッフが参加するようにしています。	
25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・関係機関との会議を通して、連携が図れる体制を作っています。	
26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・年2回の幼保連絡会を行い連携を図っています。必要に応じて電話でも連携を図っています。	
27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・移行支援シートと併せて、就学先が決定した後、連絡会を行い連携を図っています。	
28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。				
29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				

関係機関や保護者

各 と の 運 携	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○			・児童発達支援センターが開催している研修を受けるようにしている。また、他職員にも資料等、回覧している。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○			・同法人の保育園の園庭を利用した活動や行事を行っています。3歳以上の子どもは全員幼稚園、認定こども園、保育園に就園しています。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			・基本家族通園を行っており、活動終了後保護者と振り返りを行っています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			・基本家族通園で活動し、年4回の懇談会を通して講師や専門職を招いての勉強会の実施、活動後に振り返りの時間を設けています。	
保 護 者 へ の 説 明 等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			・契約時に説明を行い、書類もお渡ししています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			・日々の振り返りや個別支援計画の面談を通して話をする機会を設けています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○			・個別支援計画の説明後、署名をもらい保護者の方にも控えを渡すようにしています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			・日々の振り返りや個別支援計画を通して、話す機会を設けています。希望がありましたら、随時面談を行っています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○			・保護者会は設立していませんが、分離の活動や懇談会を通して、保護者同士のコミュニケーションが図れるように心掛けています。また、きょうだい同士の交流は行事等を通して交流が出来るようにしています。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○				・保護者からの相談・意見等があった際にはすぐに、管理者等に報告し対応を検討するように心掛けています。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○				・おたよりを作成し、ホームページ等でお知らせしています。また毎月25日までは次月のおたよりをアップできるよう心掛けています。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○				・契約時に書面を用いて説明を行っています。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○				・必要に応じて、視覚支援を用いた対応を行っています。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。			○		
45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○				・掲示等を通して周知しています。年に1回総合避難訓練と毎月避難訓練を行っています。	

非常時等の対応

46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・業務継続計画（BCP）を作成し、閲覧できるようにしています。また、毎月避難訓練を行っています。	
47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		・契約時に連絡表に記載してもらい、確認をしています。 ・必要に応じ、主治医の意見書等を提出してもらい、把握するようにしています。	
48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・医師の指示書の元、除去食の提供をしています。	
49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・外傷記録簿や個人日誌に記載し、朝礼で伝達を行うことで再発防止に努めています。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・法人で虐待防止委員会を設置しています。また、研修会に参加することや必要に応じて関係機関と連携を図っています。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。		○		・契約時、身体拘束についての同意説明は行っていますが、計画には記載していません。基本、身体拘束は行っていません。